

令和5年山形県少年少女柔道ワッペン大会 実施要項

- 1 目的 わが国の将来を担う小学生の心身ともに健全な育成を目指し、児童相互の交流・親睦及び正しい柔道の普及。発展を期する。また、将来の日本柔道を背負う、ジュニア選手育成を目的とする。
- 2 主催 山形県柔道連盟
後援 公益社団法人 山形県防犯協会連合会
公益社団法人 山形県柔道整復師会
山形県柔道高段者会
- 3 期 日 令和5年6月4日(日)午前9時30分開会、選手受付は午前8時10分会場入り口で行う。
開場は8時10分になります。(審判・監督会議は8時50分から体育館2階会議室で行う。)
- 4 会 場 山辺町武道館(山辺町緑ヶ丘1番地。TEL023-664-7263)
- 5 参加資格 ☆全日本柔道連盟に登録しているものであり、指導者登録をしている監督が引率すること。
- 6 試合方法 (1) 3年生男子・3年生女子
4年生男子・4年生女子
5年生男子・5年生女子
6年生男子・6年生女子
全学年、男女とも階級オープンで行う。
(2) 試合時間は2分とし、勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」とする。
「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合「指導」の差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
1差であれば旗判定で勝敗を決定する。(GSは行わない)
(3) ゼッケンの着用
柔道着にゼッケン(団名)を縫い付けて出場すること。
布地は白色サイズは概ね横30cm 縦20cm
名字(姓)上団名下男子は黒色女子は赤色
縫い付けの場所は後ろ襟から約10cm 下部とする。
- 7 審 判 「国際柔道連盟試合審判規定」(少年大会特別規定)による。
- 8 表 彰 各学年ごとに優勝、準優勝、第3位(2名)に賞状、メダル、ワッペンを授与する。
各学年男女ともベスト8に賞状及びワッペンを授与する。
(山形県柔道連盟より、上位者に対し名誉あるワッペンを授与します。
一年間県柔連の強化指定選手として、プライドを持ち頑張ってください。)
- 9 申し込み 申込書により大会事務局あてメールで申込むこと。
〒990-0301 東村山郡山辺町大字山辺107
高橋成幸 TEL090-3122-6610
Mail:r05takahashi@yahoo.co.jp
締切り令和5年5月13日(土)17時
- 10 参加料 選手1名につき500円(保険代含む)を試合当日ご持参ください。
- 11 組合わせ 大会主催者が行う。
- 12 安全管理 選手はスポーツ安全協会傷害保険に加入していること。

救護として山形県柔道整復師会山形地区会員を配置し万が一の事故発生に備える。

13 その他 審判・監督会議は 8 時 50 分より体育館会議室で行う。

試合場には選手及び監督以外は入らないこと。監督の服装は正装とし作業衣やトレーナー等は禁止します。

なお、今大会へは各チームより審判員を1名派遣願います。審判員の服装は正装。選手監督以外は試合場への出入りはできません。

各スポ少推薦審判員は、監督以外でお願いします。(審判する余裕がないため)

観覧席はあらかじめ地区指定させていただきますので譲り合ってトラブルのないよう着席してください

脳震盪対応について

ジュニア（20歳未満）以下の大会要項に下記条項を追加する
選手および指導者は下記事項を遵守すること。

- 1、 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- 2、 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- 3、 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- 4、 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し書面により事故報告書を提出すること。